経営比較分析表（令和4年度決算）

岩手県八幡平市　八幡平市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	4	－	透 訓	救 臨
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
23,975	6,313	第２種該当	－	１３：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	60
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
57	－	57

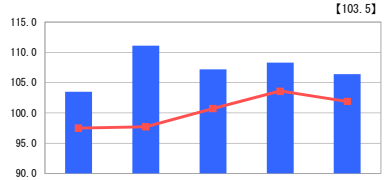
※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

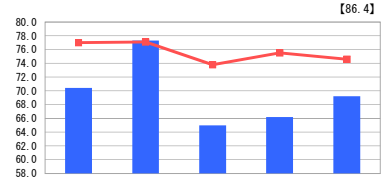
【103.5】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	103.5	111.1	107.2	108.3	106.4
平均値	97.5	97.7	100.7	103.6	101.9

②医業収支比率(%)

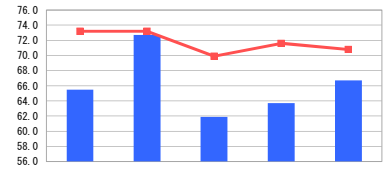
【86.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	70.4	77.3	65.0	66.2	69.2
平均値	77.0	77.1	73.8	75.5	74.6

③修正医業収支比率(%)

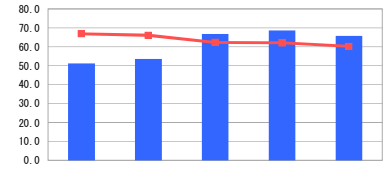
【83.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	65.5	72.7	61.9	63.7	66.7
平均値	73.2	73.2	69.9	71.6	70.8

④病床利用率(%)

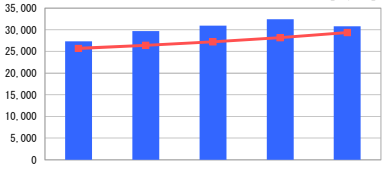
【66.8】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	51.2	53.6	66.7	68.6	65.8
平均値	66.9	66.1	62.3	62.1	60.2

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

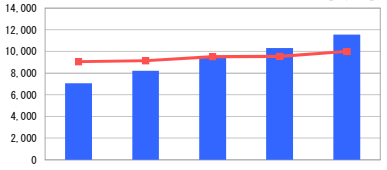
【61,837】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	27,363	29,712	30,937	32,426	30,756
平均値	25,711	26,415	27,227	28,176	29,348

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

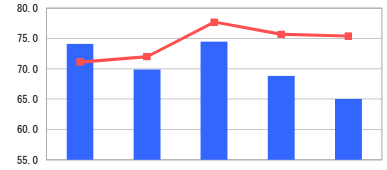
【17,600】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	7,054	8,208	9,500	10,304	11,542
平均値	9,060	9,135	9,509	9,548	9,992

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

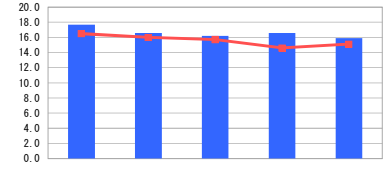
【55.6】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	74.1	69.9	74.5	68.8	65.0
平均値	71.1	72.0	77.7	75.7	75.4

⑧材料費対医業収益比率(%)

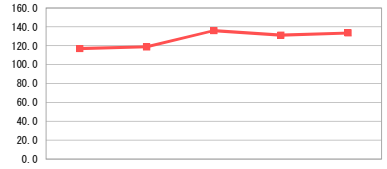
【25.1】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	17.7	16.6	16.2	16.6	15.9
平均値	16.5	16.0	15.7	14.6	15.1

⑨累積欠損金比率(%)

【63.0】

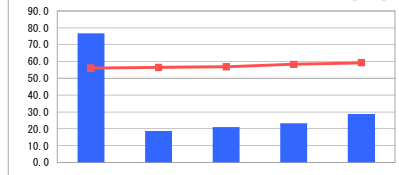


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	117.0	118.8	136.0	131.3	133.6

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

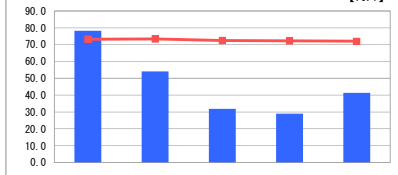
【56.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	76.7	18.7	20.9	23.3	28.9
平均値	56.1	56.4	56.9	58.3	59.2

②器械備品減価償却率(%)

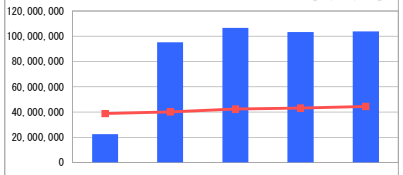
【70.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	78.2	54.1	31.9	29.0	41.3
平均値	73.2	73.4	72.5	72.3	72.0

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,963,977】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	22,345,133	95,069,400	106,502,833	103,384,867	103,680,617
平均値	38,744,035	40,117,620	42,330,999	43,068,047	44,341,948

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

地域医療の拠点として、一般病床60床（うち地域包括ケア病床36床）と常設の診療科外来のほか専門外来及び人工透析外来を継続し、診療の充実と良質な医療の提供に努めている。
地域医療連携の強化、地域包括ケアシステムへの積極的な参画が求められている中においては、地域での役割を果たすため、盛岡構想区域の医療機関と連携した医療体制を構築し、近隣の医療機関との役割分担を図りながら在宅復帰のための支援を行っている。
地域包括ケア病床を核に、訪問診療・訪問看護などの在宅医療についても拡充していく。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の対応について、外来対応医療機関として診療を行うとともに、新たに入院医療機関の指定を受けて、受入病床の確保、入院治療を行うなどコロナ禍の医療提供に取り組んだ。人工透析治療機器の増設による患者数の増加や、市外からの受診者の増加もあり、患者１人１日当たり外来収益は伸びている。
経常収支比率は、健全経営の水準とされる100%を上回り、累積欠損金もないが、令和２年度の病院新築移転に伴う、給与費等医業費用の増により医業収支比率及び修正医業収支比率が低くなっていることから、一般会計繰入金により病院事業に必要な費用を賄っていると言える。

2. 老朽化の状況について

令和２年度に病院が新築移転し、建物及び医療機器等が更新されたことにより、減価償却率が低くなっている。令和４年度においては建物の改修は行っていないが、今後は予防保全を含め計画的な改修を行い長寿命化を図っていく。
安心安全で良質な医療の提供に資するため、診療所の電子カルテほか医療機器等の整備を行った。

全体総括

令和４年度は、新型コロナウイルス感染による病棟ロックダウンに伴い一時的に入院患者数の減少及び収入減があったものの、年間を通して、入院、外来ともに患者数及び収益が増加した。前年度に整備した人工透析ベッドの拡充も収益増に寄与し、全体的に医業収益の向上が見られた。
しかし、病院建設や医療機器等の更新に伴う企業債償還額や医業費用に加えて、電気料金、物価の高騰による医業費用も増大してきており、今後においてもより一層、収益の確保と経営コストの削減に取り組む必要がある。